7

サーバ管理ソフトウェア

ここでは、サーバ管理ソフトウェアについて説明します。

ESMPRO/ServerManager, ServerAgent

ESMPRO/ServerManager, ServerAgentは、サーバシステムの安定稼動と効率的なシステム運用を目的としたサーバ管理ソフトウェアです。ESMPRO/ServerManagerをネットワークポート経由の接続またはLANコンソールにインストールすることにより、CPUブレード等のサーバの構成情報・稼働状況を監視します。ESMPRO/ServerAgentをCPUブレード等のサーバにインストールすることにより、サーバ障害情報を迅速に管理コンソールに通知します。ここではEMカードの機能に限定して、注意点のみを記載します。ESMPRO/ServerManager, ServerAgentのインストール、設定および運用方法等はESMPRO/ServerManager, ServerAgentのインストレーションガイドおよびCPUブレードのユーザーズガイド・取扱説明書等を参照してください。

ESMPRO/ServerAgent は、CPU ブレードに EXPRESSBUILDER が添付される場合はEXPRESSBUILDERからご利用いただけます。
ESMPRO/ServerManagerは、下記のホームページからダウンロードしてご利用ください。

http://www.nec.co.jp/pfsoft/smsa/download.html

※ CPUブレードに添付されるEXPRESSBUILDERに収録されているESMPRO/Server Managerは、本体装置N8405-040(ブレード収納ユニット(SIGMABLADE-H))に対応していない場合があります。
ESMPRO/ServerManagerによる対応は、下記のバージョン以降となります。

ESMPRO/ServerManager Ver.4系列の場合 Ver4.42以降

ESMPRO/ServerManager Ver.5系列の場合 Ver5.1以降

ESMPRO/ServerManager Ver.6以降 全バージョン

※ CPU ブレードの種類によっては、EXPRESSBUILDER が添付されません。この場合は、CPUブレードに添付される「ご使用にあたって」等のドキュメントを参照してください。

- **ESMPRO/ServerManagerのIPアドレスの設定**

  SNMP TrapをESMPRO/ServerManagerに通知するには、CLIの「ADD SNMP TRAPRECEIVER」コマンドによりESMPRO/ServerManagerの稼動するネットワークポート経由の接続またはLANコンソールのIPアドレスを指定する必要があります。詳しくは「コマンドラインコンソール機能の使い方」および「コマンド仕様」を参照してください。

- **ESMPRO/ServerManager Ver.5以降利用時のDianaScope Gatewayの設定**

  ESMPRO/ServerManager Ver.5以降による監視では、EMカードのDianaScope Gateway機能を利用します。監視が必要な場合は DianaScope Gateway機能を有効にしてください。設定方法については「初期設定」の「DianaScope Gatewayの設定(EMカード)」(P.38ページ)を参照してください。

DianaScope Gatewayを有効とした状態で、DianaScope ManagerおよびESMPRO/SM（Ver.5以降）との通信ができない場合、EMカードの処理が遅くなる場合があります。これらのソフトウェアからの監視を行わない場合は、必ずDianaScope Gatewayを“(無効)”としてください。

- **ESMPRO/ServerManager Ver.5以降利用時のEMカードのIPアドレスの設定**

  ESMPRO/ServerManager Ver.5以降による監視では、EMカードのIP アドレスの第四オクテットを4の倍数に指定(例えば、192.168.1.4や192.168.1.8)する必要があります。設定方法については「初期設定」の「ネットワーク設定(EMカード」(P.29ページ)を参照してください。

DianaScope Manager, Agent

DianaScopeは、サーバをリモート管理することにより運用管理コスト削減を可能とするソフトウェアです。
DianaScopeは主に、管理用PC(「DianaScopeサーバ」と呼びます)上で動作する「DianaScope Manager」と、管理対象サーバ上で動作する「DianaScope Agent」で構成されています。
(管理用PCはネットワークポート経由の接続と兼用可能です。)また、DianaSccope Managerはブレード収納ユニットに搭載したEMカードと通信し、情報収集・搭載モジュールの監視等を行うことができます。詳しくは、DianaScopeのインストール、設定および運用方法等はDianaScopeのインストレーションマニュアルおよびCPUブレードのユーザーズガイド・取扱説明書等を参照してください。

DianaScope ManagerおよびDianaScope Agentは下記のホームページにて配布しております。こちらのサイトからダウンロードしてご利用ください。(あらかじめ「インストール手順」の記載内容を確認した上でご利用願います。)

http://www.nec.co.jp/products/DianaScope/download_d.html

※ ダウンロードするDianaScope ManagerおよびDianaScope Agentのバージョンが、それぞれ下記のバージョン以降であることを確認してください。

DianaScope Manager(Ver. 1.14.07)

DianaScope Agent

- Windows版(Ver. 2.11.00)
- Linux版(Ver. 2.11.00)

- **DianaScope Gatewayのユーザパスワードの設定**

  DianaScope Managerでは、サーバ登録時に認証キーの入力が必要です。EMカードのCLIから「SET DSGPASSWORD」コマンドにより、あらかじめ設定したDianaScope Gatewayのパスワードを入力してください。(詳しくは「初期設定」、「コマンド仕様」およびDianaScopeのインストレーションマニュアルを参照してください。)

- **DianaScope Gatewayのステータス設定**

  DianaScope Managerによる監視を行う場合は、DianaScope Gatewayのステータス(有効/無効)が有効に設定されている必要があります。(初期設定は"有効"です。DianaScope Gatewayのステータス設定状態は、EMカードのCLIから「SHOW DSGSTATE」コマンドにより確認することができます。詳しくは「コマンド仕様」を参照してください。)

チェック

DianaScope Gatewayを有効とした状態で、DianaScope ManagerおよびESMPRO/SM(Ver.5以降)との通信ができない場合、EMカードの処理が遅くなる場合があります。これらのソフトウェアからの監視を行わない場合は、必ずDianaScope Gatewayを"(無効)"としてください。

- **EMカードのIPアドレスの設定**

  DianaScopeまたはESMPRO/SM（Ver.5以降）をご利用の場合は、<フローティングIP(アクティブEM)のIPアドレス>の第四オクテットを4の倍数に指定(例えば、192.168.1.4や192.168.1.8)する必要があります。(EMカードのIPアドレスの設定は、EMカードのCLIから「SET NETWORK ADDRESSRANGE」コマンドにより確認することができます。詳しくは「コマンド仕様」を参照してください。)

メ　モ